

## 国立大学法人 東京農工大学

（審査・評価委員の所見）

- 本事業資金により、当初計画通り先端研究施設の増強、創薬系スタートアップの海外企業との事業拡大、動物救急医療センター、組織的大型-大型連携の拡大等を進めている。
- 令和4年度の資金獲得実績は、令和3年度並みでフォローアップ調書時に下方修正した目標に対しても未達の状況である。令和5年度も大きな目標を掲げており、達成に向けては様々な取組みの確実な進展が必要と思われる。受託研究の間接費収入減は組織維持が難しくなる可能性もあり、留意が必要である。
- 学長主導の環太平洋圏における大規模研究連携・事業連携の成果には大いに期待する。同時に、その学長のリーダーシップを支える学内事務組織をどのように作り上げていくかについても注視したい。